

稲作を学びに来た JICA 研修員が小学生と交流！ 初めてのおむすび作りや日本の給食を体験！

11月8日（火）、JICA筑波で稲作技術を学んでいるアジアやアフリカの研修員13名が土浦市立都和南小学校を訪問し、「米」を通じた国際交流を図ります。

研修員たちは、JICA筑波が実施する課題別研修「稲作技術向上（普及員）」に参加しており、各国政府で稲作普及に取り組む普及員です。アフリカを中心に多くの国でコメの需要が高まっており、コメの生産拡大は食料安全保障上喫緊の課題となっています。研修員たちは、農家に適正かつ効果的・効率的な稲作技術を普及することで、農家の生産性向上を目指し、2022年5月に来日しました。

今回の学校訪問では、研修員達の国の米料理の紹介、小学校の児童による日本の米文化および児童が取り組んでいる稲の栽培の紹介、また研修員は初めてのおむすびづくりや日本の給食を体験します。研修員たちにとって日本文化を体験する貴重な機会となります。また、児童の皆さんにとっても開発途上国や異文化理解に関する興味・関心を高める機会になればと考えています。

研修員が、小学生との交流から何を感じ、何を学ぶのか、また初めてのおむすびづくりや給食への反応等、ぜひ取材にお越しく下さい。当日は研修員へのインタビューも可能です。ご希望の場合は、下記問い合わせ先（JICA筑波・西岡）まで事前にご連絡ください。

記

- 日時：11月8日（火）10:15～13:30
- 場所：土浦市立都和南小学校（〒300-0065 茨城県土浦市常名 3090）
- 研修員：13名（エチオピア、ケニア、リベリア、マラウイ、フィリピン、シエラレオネ、スーダン2名、ウガンダ、カメルーン、コートジボワール、ギニア、ギニアビザウ）
- プログラム

時間	プログラム
10:15	小学校到着
10:25～	1. ウェルカムセレモニー 2. 研修員自己紹介、研修員の自国の米料理紹介 3. 児童による日本の米文化紹介、児童から研修員へ米についての質問など 4. おむすびづくり 5. 日本の小学校紹介、小学校ツアー
12:00～	給食
13:15～	お別れの会

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 筑波 研修業務課 西岡 美紀

TEL : 029-838-1744 Mobile : 080-7106-9421 E-mail : Nishioka.Miki2@jica.go.jp

●参考資料(写真)



【本件に関する問い合わせ先】

JICA 筑波 研修業務課 西岡 美紀

TEL : 029-838-1744 Mobile : 080-7106-9421 E-mail : Nishioka.Miki2@jica.go.jp